

キリストの架け橋

発行責任者：宝田 豊 yutakara@gmail.com

対外伝道ニュースレター

2017年7-9月 Vol.17

～アジア太平洋バプテスト大会～



9月の終わりに4年に一度のアジア太平洋バプテスト大会（APBC）がインドネシアで持たれました。今回は、日本バプテスト連盟の方々とご一緒させて頂きました。

近隣地域の国々から、たくさんのクリスチャンが集い、礼拝を捧げ、学びをし、互いの交わりを通して、ともにクリスチャンとしての親交を深めていました。

今回、大会の中でイスラムさんというイスラム教徒から改宗したクリスチャンの方とお会いしました。この方は、新生讃美歌483番「主と共に歩む」を作詞作曲した方です。そして、この讃美の背景にある彼の歩まれた人生について伺うことができました。

イスラム教徒として厳しい戒律の中を生きてきたイスラムさんですが、心は決して平安ではありませんでした。それは、イスラム教では、信徒であっても、実際に天国へ行けるかどうかは、死んでみなければ分からないからです。そのことが、一節の「暗い世をひとりで、手探りでさまよう。支え得る杖なく、恐れのみあふれる」の歌詞にあらわされています。



そんな人生を生きていく中、イスラムさんはイエス・キリストに出会ったのです。この出会いが、暗闇に光を与え、その光に照らし出された後の生涯は、恐れもなく、希望にあふれたものと変えられていったのです、と折り返しに信仰による新たな人生が表されています。2節と3節は、どちらもイエスにある人生を生きられることの喜びが記されています。

今、多くの人が、経済の不調、北朝鮮のミサイル問題や繰り返されるテロ事件、そして自然災害に至るまで、さまざまな分野で暗い現実の中を不安をもって生きています。確かに、戦争をなくそうとか核廃絶とか、さまざまな取り組みがなされていますが、こうした取り組みは、根本的な解決にはならないことを知らなければなりません。何千年という人間の歴史の中で、罪に支配された人の心は、何も変わっていないからです。利己的で自己中心な人の心が、世界に多くの問題を生み出しているのです。自然災害にしても、人間が自然を破壊してきた経緯があることを忘れてはなりません。

しかし、今回のイスラムさんのように、イエス・キリストとの出会いを通して、その人の内に聖霊が宿り、神の平安が心を支配し、他者を愛する思いが養われていくのです。

人が、イエス・キリストにおける神の平安に心を捕えられる時、はじめて誰もが願う世界平和が現実となり得るのです。この良き知らせを世の中に発信できるのは、イエス・キリストとの出会いを体験したクリスチャンしかいません。だからこそ、クリスチャンは、福音宣教に邁進していかなければならないのです。

福音を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまで寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。第二テモテ 4章2節



教会に居ることが大きな喜び、と言えるような群れをみんなで築いて行こうと歩みを始めています。

当教会で共に喜びある礼拝を守ってみませんか。どなたも心から歓迎いたします。

徳山バプテスト教会 〒745-0881
山口県周南市大字徳山東辻 5685-12
<http://tokuyama-ch.com>

祈りのリクエスト

- + 徳山バプテスト教会の祝福
- + 教会の必要経費の備え
- + 教会員の霊的成長
- + 新来者が与えられるように
- + 救われる魂が与えられるよう
- + 地域の人々が教会を訪れるよう
- + 被災地伝道
- + 活動経費が備えられるよう
- + テキサス州内伝道の祝福
【ダラス、アビリーン、コーパススコープ、サンアントニオ、ヒューストン】
- + 御国バイブルフェロシップ（ヒューストントン）と上原牧師と先生の牧会の上に神様の祝福があるように。

主な行事予定(2017年10-12月)

- 10月09日 中四国連合牧師会
- 11月15-17日 日本バプ連盟定期総会
- 11月02日 渡邊家訪問
- 11月26日 横浜大和町キリスト教会
- 12月24日 クリスマス礼拝
- 12月31日 2017年最後の礼拝

テキサス内では、それぞれの町でクリスマス祝会を開催します。

室蘭キリスト教会



7月、ダラスの教会から、一人の兄弟が参加、更に徳山の教会から一人の姉妹が同行し、三人で室蘭にあるバプテスト教会の伝道協力に行ってきました。

決して、大きな教会ではありませんが、神学校を卒業して一年目の吉田尚志先生が一生懸命に牧会に励まれ、活気のある教会として成長していました。

この教会には、近くの大学の留学生が何人かおられ、良く奉仕をされていましたが、彼らのための日曜学校がなかったので、カナダ兄が、彼らのための英語による日曜学校を行っていただきました。参加された学生たちは、大変喜んでいました。



礼拝では、参加した二人の証を交えて私が宣教し、礼拝後には、庭でバーベキューをして、教会の人との良き交わりの時を持つことができ、有意義な時間を与えられました。

交換講壇

8月の終わりには、今年も中四国連合の北ブロック内で交換講壇がもたれ、私は、広島県の呉に近い緑の牧場キリスト教会での礼拝で宣教をさせていただきました。

今回は、行く前に、この教会での宣教にあたり、ビリーグラハムのような伝道説教はしないこと、写真は撮らないこと、メッセージを英訳して事前に原稿を提出することなど、さまざまな要求がなされました。また、差別用語については、牧師が非常に神経質になっていることも加えて書かれていました。

これらは、教会のルールということでしたので、この教会の在り方を尊重しつつ、メッセージの準備をさせていただきました。当日は、み言葉に忠実に従って生きることの大切さ、み言葉こそ宣教の中心であることを語らせていただきました。

午後は、広島教会で同じブロックの牧師会がもたれ、出席してきました。牧師会では、それぞれの教会の現状などを通して、共に祈り合う時間が与えられました。

今期は、格安の飛行機代を得ることが出来ず、予想以上にかなりの赤字となっていました。それでも、神は、今の宣教を継続させて下さっています。具体的には、神が、皆さんからの心に支援への思いを起こさせて下さったためです。お一人お一人のご支援に、心から感謝申し上げます。

支援金は、下記住所までご送金をお願いいたします。

Japanese Baptist Church of North Texas
For Takarada Fund
6040 Alpha Rd. Dallas, Texas 75240

徳島キリスト教会献堂式

9月18日、徳島にあるバプテスト教会の献堂式に出席してきました。ちょうど前日に台風が近海を通り過ぎ、翌日ということもあり、欠席者が多いのではないかと心配しましたが、当日、教会に行くと、そこには連合内の教会からたくさんの方が、出席されていました。



インドネシアでのスタディーツアー

アジア太平洋バプテスト大会では、朝と夜の大会の中で、参加者による讃美と踊りが披露されました。みなそれぞれの文化を紹介することも目的だったのでしょうか、その国独特の衣装でのパフォーマンスがなされていました。



大会後、日本からの派遣宣教師、野口日宇満先生のご協力により、インドネシアの観光や神学校の見学、それに日曜日には、二つの教会における、英語による宣教の機会を与えていただきました。恵み豊かで、感謝な旅でした。



(左上から時計回り、最初の教会での礼拝風景、神学校正面、神学校の校長と一緒に野口宣教師、ボルブドール遺跡)

インドネシアでのアジア太平洋バプテスト大会では、到着早々、公式カメラマンを頼まれ、最前列で忙しく写真を撮っていました。働きが与えられ、感謝！



経費内訳 2017年07月～09月 (¥112/\$)

2016年6月までの収支	-2350.73
入金 (04-06月)	
支援金総額	6,482.14
経費 (04-06月)	
国際線+日本の国内線	7,835.67
日本の経費合計 (治療費含む)	4,648.64
徳山バプテスト教会支援金	535.71
経費合計 (4-6月)	13,020.02
収支合計 (4-6月)	-6,537.88
次期への繰越金	-8,888.61